

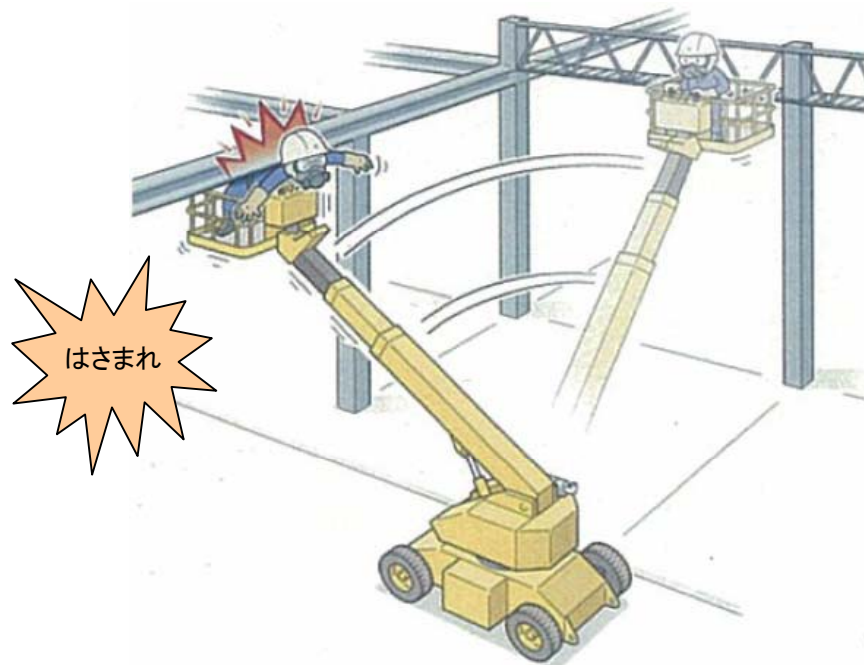
安全にご使用
いただくために

ブーム伸長量大きい状態で旋回操作時、はさまれ

LZB07-0977

発生状況

ブーム式高所作業車で工場構内の塗装作業終了後、ブーム「縮」操作しながら旋回操作したが旋回速度が速く、移動方向にあったパイプラックに衝突し作業床との間にはさまれ。



原因

移動方向や周囲の状況を見なかったことと、ブーム伸長量が大きく旋回スピードが速かったため。

対策

- ①移動方向を確認しながら操作する。
- ②ブーム旋回操作はブームを適度に縮めてから行う。
- ③レバー操作は状況に応じてゆっくり行う。